

令和5年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京市立芝久保小学校 1年生

西東京ふるさと探究学習

単元名：むかしあそびめいじんになろう
(活動名)

- ねらい：
- ・保護者や地域の方と一緒に遊ぶ活動を通して、昔の遊びの楽しさや身近な人たちの優しさや、自分ができるようになったことに気付く。
 - ・保護者や地域の方と一緒に遊ぶ活動を通して、遊び方を考えたり、支えてくれた人たちについて考えたりすることができる。
 - ・保護者や地域の方と一緒に遊ぶことを通して、身近な人たちに親しみや感謝の気持ちを持ち、意欲的に生活しようとする。



【1月16日】

すごろく作りを行いました。「楽しいはつくれる！」をテーマに、すごろくの盤はタブレットで作成し、ゲームのル

ールは、班で話し合いを重ね、みんなが楽しめるよう工夫して考えました。



【1月20日】

土曜授業では、保護者の方と昔遊びのこつを見つめる活動をしました。保護者の方にアドバイ

をもらいながら、一緒に練習しました。けん玉は、「膝を曲げるといいよ！」とコツを見付けて上達しました。



【2月2日】

地域の方と一緒に、こまやけん玉、お手玉などの昔遊びを楽しみました。やり方やこつについてす

すんで質問をし、何度も練習しました。「できた！」という喜ぶ声がたくさんあがりました。

【2月15日】

保護者の方や地域の方に教えてもらったことを生かして、さらに練習に励みま



した。友達と教え合う姿も多く見られ、学習の始めの時よりも、できる技が増えました。

コラム

昔遊びを通して、これまで知らなかった遊びの面白さを知り、もっと上手になりたいという意欲がわいた子どもたち。保護者や地域の方が子どもたちと一緒に遊び、こつを教えてくださいました。見つけたこつは、タブレットを活用しながらまとめました。学習を通して、子どもたちからも、保護者の方や地域の方からも笑顔が見られました。(1年担任)